てわろし。

(第一段)

春

霜のいと白きも、またさらでもいと寒きに、火など急ぎ

冬はつとめて。雪の降りたるはいふべきにもあらず、

(4)

だけ聴覚でとらえているところがあります。その部分を古文中

この古文では、風物を主に視覚でとらえていますが、

一か所

ぬるくゆるびもていけば、火桶の火も白き灰がちになり

おこして、炭もて渡るもいとつきづきし。昼になりて、

## 次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。

枕草子

(1)

a・bの意味をそれぞれ答えなさい。

a

※句読点や符号も一字と数えます。

飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにう あかりて、紫だちたる雲のほそくたなびきたる。 春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、すこし 夏は夜。月のころはさらなり、やみもなほ、蛍の多く

が、いと小さく見ゆるはいとをかし。日入りはてて、風 に、鳥の寝どころへ行くとて、三つ四つ、二つ三つなど、 ち光りて行くもをかし。雨など降るもをかし。 の音、虫の音など、はたいふべきにあらず。 飛びいそぐさへあはれなり。まいて雁などのつらねたる 秋は夕暮れ。夕日のさして山の端 いと 近うなりたる

> なさい。 「つきづきし」と言っているのですか。現代語で具体的に答え b 線①とありますが、作者はどのような情景(様子)を

(2)

語で答えなさい。 線②とありますが、何がそうなっていくのですか。現代

(3)

から一文で探し、 初めの五字を書き抜きなさい。

(5)ていますか。それぞれ現代語で答えなさい。 作者は、春と冬のよさは、一日のうちのいつごろにあると言っ

名前

番

冬

かかった時間 正解数 分

21020028

組

	_
(2)	(1)
(例)	a
寒さ	(例)
の厳しい早	趣がある
朝 に 火	b
火を急	(例)
忌いでおこ	とても
۷	

(4)(3) (例) 日入りはて して炭を持って(ろう下などを)通って いく情景 (様子)。 寒さ

(5)

春 (例)

明け方

冬 (例)

早朝

間違った問題を確認してみよう の音、虫の音など、はたいふべきにあらず。 が、いと小さく見ゆるはいとをかし。日入りはてて、風 飛びいそぐさへあはれなり。まいて雁などのつらねたる あかりて、紫だちたる雲のほそくたなびきたる。 に、鳥の寝どころへ行くとて、三つ四つ、二つ三つなど、 ち光りて行くもをかし。雨など降るもをかし。 飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにう てわろし。 ぬるくゆるびもていけば、火桶の火も白き灰がちになり 霜のいと白きも、またさらでもいと寒きに、火など急ぎ おこして、炭もて渡るもいとつきづきし。昼になりて、 秋は夕暮れ。夕日のさして山の端 いと 近うなりたる 夏は夜。月のころはさらなり、やみもなほ、蛍の多く 春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、すこし 冬はつとめて。雪の降りたるはいふべきにもあらず、 次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。 枕ったうと (第一段) ④ この古文では、風物を主に視覚でとらえていますが、一か所 ※句読点や符号も一字と数えます。 ⑤ 作者は、春と冬のよさは、一日のうちのいつごろにあると言っ 語で答えなさい。 なさい。 ていますか。それぞれ現代語で答えなさい。 から一文で探し、初めの五字を書き抜きなさい。 だけ聴覚でとらえているところがあります。その部分を古文中 ~~ a・bの意味をそれぞれ答えなさい。